

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|---|--|-----------|------------------------|
| 学校名 | 邑南町立市木小学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 全校 | 総合 | ふるさと市木探検隊 | 地域に残っている遺跡や施設等 |
| ねらい | 市木の歴史や伝統を学ぶ中で、ふるさとへの愛着と誇りを持ち、地域を大切にして受け継いでいこうとする態度や地域に貢献しようとする態度を養う。 | | |
| <p>1 取組の概要</p> <p>歴史や伝統が残る市木の町について学ぶ場として、公民館やふるさと学芸員の方とのタイアップで毎年1回ずつ実施している。6年間で市木の歴史や文化を学ぶことができるよう、探検場所が選定されている。計画をもとに探検を行い、後日学んだことを保護者や地域の方に聞いていただく「ふるさと市木探検発表会」を行っている。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史ある様々な場所を見学することにより、市木にこんな素晴らしいものがあるということを知り、誇りをもつことができる。また、学芸員の方の話を聞きながら、地域に貢献した様々な人々がいたことを知ることで、ふるさとの素晴らしさを知るとともに、こうした歴史や文化を大切にしようとする態度を育てる。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探検を行う前に見学場所について知らせ、子どもたち自身が知りたいことを事前に決めて探検に参加するなど、主体的に学ぶことができるように工夫する。 ・思考ツールを活用するなどして見学後にわかったことを整理するとともに、更に知りたいことを調べ、深めることができるように工夫する。 ・国語等で学んだ力を活用し、調べたことを新聞にまとめたり、ICTを活用するなどして発表したりできる。また、探検隊で学んだことを社会科の学習などにつなげる。 <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市木にたくさんの歴史あるものが残っていることを知る中で、市木の町のすばらしさを実感することができた。また、その中で活躍した人々がいることも知ることができた。特に市木の町を救った大竹代官について印象に残った子が多く、「私もこんな人になりたい」という憧れをもつ子が何人もいた。 ・6年生は6年間で多くの場所を学び、「市木の町を大切にしていきたい」という思いをもつことができた。 ・発表会では、保護者や地域の方に来ていただいて学んだことを聞いていただいた。「学校で地域のことをしっかり学んでいてうれしい」という感想もあり、地域の方にも喜んでいただいている。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探検を行う前に見学場所について知らせたり、「市木カルタ」をしたりしながら探検当日への意欲を高めることができた。 ・発表会に向け、各学級で工夫しながら発表する姿が見られた。3・4年生では、調べたことを新聞にまとめ、クイズ形式で発表した。5・6年生ではICTを活用し、写真なども活用しながら調べたことを紹介した。発表に向け、国語などで学習した力を活用することができた。 | | | |

4 課題や今後の展望

- ・「ふるさと市木探検隊」は地域のことを深く学ぶよい機会である。地域の方がふるさと学芸員となり、地域の良さを伝えながら、児童との交流も図ることができている。一方、特に低学年においては、学ぶ内容が難しくなる一面もある。低学年にもわかるように説明をしていただくなどの必要もある。また、5・6年生の社会で学ぶ歴史学習とのつながりも多いので、その時にふるさと市木探検隊で学んだことをつなげることで、地域の良さをより深める必要があると考える。
- ・「ふるさと市木探検隊」は職員にとっても地域を知る良い研修の場になっている。ただ、他の学年で学んでいる内容については知らないことも多いので、別の機会に地域を知る研修の場もあるとよい。

